

北医療薬会報

発行所 北海道石狩郡当別町金沢1757番地
北海道医療大学薬学部同窓会

☎(0133)23-0301 直通・FAX
☎(0133)23-1211 大学代表
発行人 田中稔泰

印刷所 (株)コルパス

札幌市白石区菊水2条1-4-27
☎(011)837-7057



目 次

会長挨拶 30周年記念式典を終えて	田中 稔泰	3
北海道医療大学薬学部同窓会設立30周年記念祝賀会の開催		4
薬学部同窓会設立30周年記念祝賀会に参加して		
北医療大薬学部同窓会沖縄支部	伊波 重宏	5
15期	福田由布子	6
20年度事業報告および21年度事業計画		9
中央講義棟のご案内		11
副会長就任のご挨拶	桂 正俊	11
お知らせ		12
編集後記		12

会長挨拶 30周年記念式典を終えて

田中稔泰

太平洋を望む道東の音別町に、北海道医療大学の前身である東日本学園大学が誕生して35年、薬学部同窓会は設立30周年を無事迎えることができました。我々同窓生を様々な面から支えて頂いている関係団体の方々に感謝の意を表すと同時に同窓生の絆を深めるべく、昨年11月22日、ホテル札幌ガーデンパレスに於いて、薬剤師会関係者、大学関係者のご臨席と32期までの同窓生が集まり設立30周年記念式典を無事開催することができました。

本記念式典を開催するに当たり約1年前から計画し、準備を進めて参りましたが、今回は懇親会のみではなく、記念講演も併せて開催することになりました。講師には本学名誉教授の高田昌彦先生をお招きし、「薬学教育とこれからの薬剤師」と題してご講演を頂きました。会場はほぼ満席状態で200名近い同窓生が集まり、今日まで進んだ医薬分業の歴史的背景と今後の薬剤師像について、また我々への学生教育を通しての大学の歴史や思い出等を独特のユーモアを交えてご講演頂き、かつての先生の講義を思い起こしながら、拝聴させて頂きました。

式典は弦楽四重奏が奏でる中出席者が入場し、北海道薬剤師会、病院薬剤師会、理事長、学長のご祝辞を頂き、黒澤薬学部長の乾杯により開宴しました。会場では、久しぶりに会った同期生、先輩後輩、先生方への近況報告等とテーブルごとに話が盛り上がっている様子でした。また祝宴中には、テーブルスピーチとして、遠路より参加して頂いた同窓会支部長紹介や歯学部同窓会長および高田名誉教授からお祝いのお言葉を頂きました。さらに終宴近くに

は、本学「YOSAKOIソーラン祭り部」による演舞がおこなわれ、盛会のうちに無事終了することができました。

今回、多くの同窓生が集まって頂きましたが、これから卒業する若い同窓生とともに、活動を進めて参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



北海道医療大学薬学部同窓会設立30周年記念祝賀会の開催

さる平成21年11月22日に北海道医療大学薬学部同窓会設立30周年記念祝賀会がホテルガーデンパレスにて開催されました。約150名の本学薬学部卒業生はもとより、北海道薬剤師会会長、北海道病院薬剤師会会長、本学理事長、学長、名誉教授および本学教職員と多数の来賓の方々のご列席をいただきました。

当日は祝賀会の開催に先立ち、午後3時から本学名誉教授の高田昌彦先生をお招きし、30周年記念講演会を執り行いました。『薬学教育とこれからの薬剤師』というタイトルで今後の薬学教育について熱弁をふるわれました。講演に参加した卒業生もまさに学生時代に戻ったように、真剣に講演を拝聴していました。講演終了後フロアからいくつもの質疑が飛び交い、大変有意義な講演会でした。

その後6時からの祝賀会では田中稔泰薬学部同窓会会長の挨拶につづき、御来賓のご挨拶を頂戴したあと、黒澤隆夫薬学部長の祝杯により、開宴しました。会場のあちらこちらで昔を懐かしむ声や、薬学、薬剤師の今後を語り合う声が聞こえ大変な盛り上がりでした。

また、祝宴のなかばでは、歯学部同窓会会長藤井健男先生、そして記念講演をお願いした高田名誉教授からテーブルスピーチをいただきました。



さらに本学YOSAKOIソーラン祭り部による演舞が披露され会場のボルテージは最高潮に達しました。大盛況の中時間はあっという間に過ぎ、本学父母後援会副会長である川上智史先生の乾杯の音頭により、式典は終焉をむかえました。



薬学部同窓会設立30周年記念祝賀会に参加して — 今後の薬学部同窓会に思うこと —

北医療大薬学部同窓会 沖縄支部

伊波重宏

昨年は北海道医療大学薬学部同窓会設立30周年記念祝賀会に参加させて頂き誠に有難うございました。34年前に北の大地で学んだ一人として改めて心からお祝辞申し上げます。

卒業後久しぶりにお会いした同窓生は、皆面影を残しながらも皆さん貫禄がついてきたなど実感させられました。それにしても本部主催の200余名の同窓生には圧倒されました。役員の皆様は大変だったと思います。ご苦労様でした。大変素晴らしい式典を有難うございました。先立って沖縄支部は10周年記念を実施して、高田名誉教授、黒澤薬学部長、田中同窓会長、野田道北支部長の出席を賜り当支部も大変盛り上がり改めて感謝申し上げます。

さて、同窓会で気になる事がありました。20期前後から30期までの同窓生の参加が少なかった事です。沖縄出身も地理的にも離れているにも関わらず、十数期までは各期10名前後の卒業者がおりましたが、現在では0～2名程です。また、支部の呼びかけに返事の無い方もいます。今回「子弟の入学について」実施されたようですが反応の方はどうでしょうか？入学してからの重圧を考えると精神的なフォローを是非考慮・実施して頂きたいと思います。

例え入学しても学業・精神面について行けず脱落する生徒もいるのではないのでしょうか？我が母校は薬学部では最北に位置します。今後も入学数にはより敏感かと存じますが、厳しい実情が考えられるのではないのでしょうか？

私が学生の頃は、自然の厳しい寒さも、勉学の厳しさも、大学側は学部長から、在校生は先輩から同期・後輩まで助けあいながらも同一体験の中で「師・友」との絆が自然にできた楽しい学園生活を思い出されます。現在も子弟等の情報交換や相談など「助け合い」が多少なりとも構築されていると思います。我、北海道医療大学だからこそできる、人格形成が社会に貢献できる人材輩出に繋がるのではないのでしょうか。

現在では我々の時代と違い、大学内において在学生の為に「カウンセラー」を配置して「学生の悩み」をフォローする事が大切だと思えます。ご父母の方も心配ですし6年間の成長を楽しみにされていますので、ソフトの面で応援する事が、現代社会では必要ではないでしょうか。それと同一体験により作りだす人間関係で「合宿」等も取り入れ、個人主義の融和に必要ではないでしょうか。

まとまりのない文章ですが、大学と同窓会の将来発展の為に、一石を投じました。ご理解の程宜しくお願いします。

追伸、同窓会は本当に楽しかったです。1泊でしたが4期と5期合同で13名楽しい時間で過去にフィードバックした様な気がしました。もっと多くの方が参加するといいいです。



久しぶりの再会（前列右から2番目が私 伊波）

薬学部同窓会設立30周年記念式典に参加して

15期 福田 由布子 (札幌社会保険総合病院薬剤部)

薬学部同窓会設立30周年おめでとうございます。また、この祝賀会開催にあたりご尽力された関係者の皆様、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

大学を卒業してからというもの、恥ずかしながら同窓会関連の会合に出席したことはなかったのですが、今回は『高田名誉教授の講演』に魅かれ出席いたしました。薬剤の実習終了時に実習ノートを確認していたのは高田先生と院生だったと記憶していますが、早く終わる高田先生側が長蛇の列で、院生の〇〇さんに「こっこの列にもお並びなさい」的な視線を送られ、仕方なく並び直した事など様々な光景が目に見えてきました。会場で高田先生の登場を今か今かと待ち構えている大先輩たちの姿はとても印象的で『原石たちが入学し、磨けば光ると思っていたが光らない原石がたくさんあった』という先生の言葉にみんな大爆笑！さぞかし苦労されたのでしょうか。申し訳ありません。

15期の出席者は少なく、一桁期の先輩たちに比べると盛り上がりについては完全に負けでした。しかしながら、大学職員に製薬会社、保険薬局に病院薬剤師と様々な職に就いている40代を迎えた同期生たちと再会し、楽しい時間を過ごせたことに感謝しています。その後は13期の先輩たちと2次会へ。中には仕事上のお付き合いをさせていただいている方もおり、熱の入った『これからの薬剤師談義』で盛り上がりました。楽しく飲んですっかり酔っ払っていたので、多くは覚えていませんが…。

この同窓会を機に、たまには同期で集まるのもいいんじゃない？と感じた方も多いのではないのでしょうか。なかなか実現は難しいかもしれませんが、幼い頃の友人関係とは一味違い、大学4年間(10年)を共にした仲間たちと過ごす懐かしい時間は、これまで以上に素敵な思い出になるような気がします。15期の同窓会は、中山！君に任せるからね。



15期の仲間たちと (左端が私、福田)

北海道医療大学薬学部同窓会（北医療薬）に関するアンケート集計結果

同窓会設立30周年記念祝賀会の会場において、祝宴前に、同窓生の方に任意で同窓会に関するアンケート調査を実施しました。多くの同窓生の方にご協力をいただきました。集計結果を記載します。

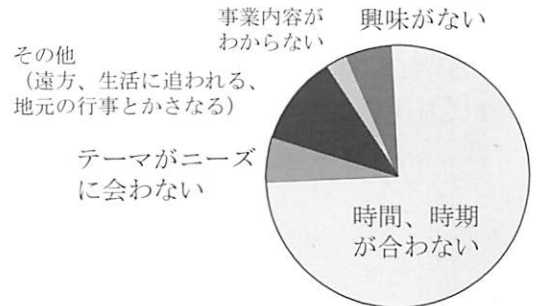
薬学部同窓会（北医療薬）に関するアンケート

I あなたは今まで北医療薬（支部を含む）のセミナーや総会に参加いただきましたか？

1. いいえ	はい (58%)	いいえ (42%)
2. はい		

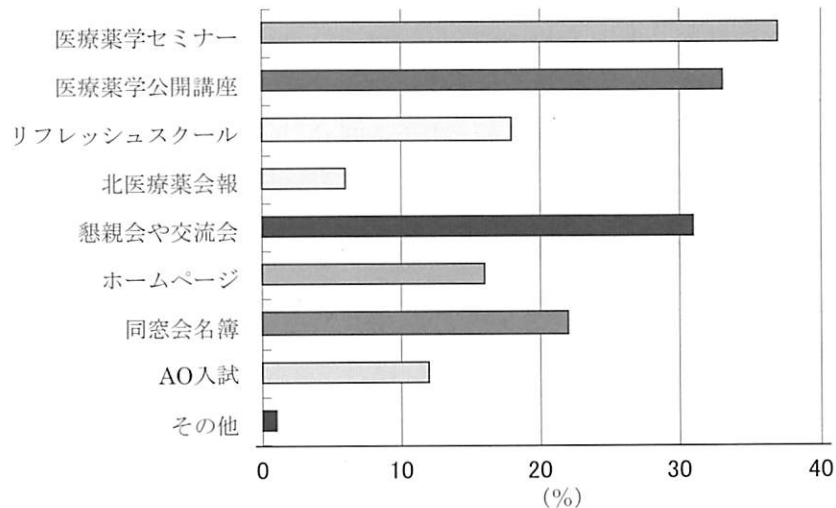
II 質問Iで『いいえ』と答えた人の理由（複数回答可）

1. 事業内容がわからない。
2. 興味がない
3. 時間、時期が合わない。
4. テーマがニーズに合わない。
5. その他



III 今後、北医療薬に期待する事業はありますか？（複数回答可）

1. 医療薬学セミナー、2. 医療薬学公開講座、3. リフレッシュスクール、4. 北医療薬会報
5. 懇親会や交流会、6. ホームページ、7. 同窓会名簿、8. AO入試、9. その他



IV 今後、北医療薬の事業で、他にどんな活動を期待しますか？（回答は記述）

卒業生のネットワークを生かし、学生実習、リクルート活動にいかして欲しい。
 地方の在住の同窓生がもっと参加しやすい会を増やしてほしい。
 札幌以外での開催を増やして欲しい。
 継続した活動の期待など

ご協力いただいた同窓生の皆様本当にありがとうございます。

YOSAKOIソーラン祭り部からの礼状の紹介

前述しましたように、同窓会設立30周年記念祝賀会において、祝宴中に、本学YOSAKOIソーラン祭り部の演舞が披露されました。ご存知の方も多いと思いますが、YOSAKOIソーラン祭り部は、YOSAKOIソーラン祭りに『THE☆北海道医療大学』として、出場し、毎年上位に入賞をしている、強豪チームです。しかしながら、ここ数年の不況という社会情勢を反映し、なかなかスポンサーがつかず、活動資金不足に悩まされているとのこと。同窓生としては、後輩達の活躍を願わずにはおられず、同窓会でもなにか支援はできないかと考え、30周年記念祝賀会において、演舞終了後にYOSAKOIソーラン祭り部に対する寄付金を募りました。同窓生の心

厚い支援により、多数の寄付金が集まったようです。後日、北海道医療大学YOSAKOIソーラン祭り部の代表から同窓会会長あてに礼状が届きました。以下に紹介させていただきます。



北海道医療大学薬学部同窓会 会長殿
一同様

平成21年11月24日

薬学部同窓会における寄付金の御礼

晩秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は私どもYOSAKOIソーラン祭り部の活動へのご支援を賜り、誠に有難うございます。

さて、過日に開催されました「北海道医療大学薬学部同窓会設立30周年記念講演会・祝賀会」において、寄付金を頂戴致し、心から厚く御礼を申し上げます。おかげ様で、今回、22万7000円もの金額を集めることができました。この寄付金は、私たち北海道医療大学YOSAKOIソーラン祭り部の活動資金にあてさせていただきます。「北海道医療大学薬学部同窓会設立30周年記念講演会、祝賀会」での演舞のお話を頂いただけでなく、寄付金を集める配慮までして下さった薬学部同窓会長殿には、心から感謝申し上げます。応援して下さる皆様のためにも、チームともども頑張ってお参りますので、ご声援よろしくお願ひ致します。

最後になりましたが、貴同窓会のますますのご繁栄をお祈り申し上げます。

北海道医療大学YOSAKOIソーラン祭り部
THE☆北海道医療大学 代表
薬学部2年 桜田 尚季

今後のさらなる北海道医療大学YOSAKOIソーラン祭り部の活躍に期待する次第です。

平成20年度事業報告

主な事業

1. 第29回北医療薬総会の開催（6月7日）
KKRホテル札幌
2. 講演会の開催
 - 1) 医療薬学セミナー（各支部と協力）
 - 6月7日(土) 札幌市（札幌支部）
 - 9月14日(日) 小松市（北越支部）
 - 9月27日(土) 広島市（中四国支部）
 - 10月4日(土) 宇都宮市（栃木支部）
 - 10月12日(日) 宮崎市（九州支部）
 - 11月8日(土) 那覇市（沖縄支部）
 - 11月22日(土) 釧路市（釧根支部）
 - 1月24日(土) 三島市（東海関西支部）
 - 3月15日(日) 当別町（道北支部）
 - 3月28日(土) 北見市（オホーツク支部）
 - 2) 薬剤師リフレッシュスクールへの後援
サテライトキャンパス、ACU研修室
7月5日、12日、19日、26日
3. 理事会の開催
（第1回：4月22日、第2回：7月30日、
第3回：9月8日、第4回：11月11日）
審議内容 1) 総会開催準備
2) 運営について 3) その他
4. 第18回 日本医療薬学会年会での懇親会開催
（9月20日）札幌ラマダホテル
5. 全国薬科大学薬学部同窓会協議会
（10月5日）東京
6. 第41回 日本薬剤師会学術大会での懇親会
開催（10月12日）宮崎
7. 支部長会議開催
（11月23日）ホテル札幌ガーデンパレス
8. 本学主催 他同窓会との懇談会
（11月28日）ホテル札幌ガーデンパレス
9. 同窓会主催他学部同窓会との連絡協議会
（2月23日）札幌ラマダホテル
10. 卒業生への入会案内説明会
入会案内発送（3月9日）

11. 法人と歯学部・薬学部同窓会との打ち合わせ
（3月11日）

12. 井出先生送別会への出席（3月11日）
京王プラザホテル

平成20年度収支決算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

収入の部 (単位 円)

科目	予算額	決算額	差異
前年度繰越金	4,715,663	4,715,663	0
会費	2,000,000	1,530,000	-470,000
普通預金利息	0	7,694	7,694
大学後援会	0	500,000	500,000
雑収入	0	49,360	49,360
収入合計	6,715,663	6,802,717	87,054

30周年記念行事費 (単位 円)

科目	金額
準備金	1,500,000

特別会計平成21年度3月31日現在 (単位 円)

科目	金額
普通預金(無利息)	30,000,000

支出の部 (単位 円)

科目	予算額	決算額	差異
通信費	900,000	350,618	-549,382
事務費	50,000	11,621	-38,379
会議費	400,000	440,130	40,130
印刷費	700,000	208,296	-491,704
旅費	700,000	665,830	-34,170
学内行事費	20,000	20,000	0
慶弔費	100,000	25,125	-74,875
支部設立援助金	300,000	0	-300,000
支部援助費	1,000,000	455,258	-544,742
会長交際費	150,000	155,781	5,781
ホームページ維持費	50,000	0	-50,000
名簿管理費	130,000	126,000	-4,000
雑費	60,000	49,802	-10,198
30周年準備金	1,500,000	1,500,000	0
予備費	655,663	0	-655,663
支出合計	6,715,663	4,008,461	-2,707,202

¥6,802,717(収入決算額)-¥4,008,461(支出決算額)
=¥2,794,256(次年度繰越金)

平成21年度事業計画

平成21年度収支予算書

主な事業計画

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

1. 第30回北医療薬総会の開催（6月13日）
K K R ホテル札幌

2. 講演会の開催
1) 医療薬学セミナー（各支部と協力）
6月13日(土) 札幌市（札幌支部）
7月25日(土) 水戸市（茨城支部）
8月22日(土) 旭川市（道北支部）
9月5日(土) 山口市（中四国支部）
11月1日(日) 沖縄市（沖縄支部）
ほか全支部にて開催を予定
2) 薬剤師リフレッシュスクールへの後援
（サテライトキャンパス）

3. 設立30周年祝賀会の開催
（11月22日） ホテル札幌ガーデンパレス

4. 第41回 日本薬剤師会学術大会での懇親会
開催（10月11日） 大津

5. 全国薬科大学薬学部同窓会協議会（未定）

6. 理事会の開催
（第1回：5月21日、随時開催）
審議内容
1) 総会提出議案について
2) 役員改選について
3) 評議員について ・その他

7. 役員会・各運営部会の開催（随時開催）

8. 同窓会主催 他学部同窓会との連絡協議会
（秋頃を予定）

9. 大学主催 他同窓会との懇談会（未定）

10. 会報の発行

11. 卒業生への入会案内説明会
入会案内発送（1月下旬）

収入の部 (単位 円)

科 目	平成20年度	平成21年度	増 減
前年度繰越金	4,715,663	2,794,256	-1,921,407
会 費	2,000,000	500,000	-1,500,000
普通預金利息	0	0	0
大 学 後 援 会	0	0	0
雑 収 入	0	0	0
特別会計より	0	3,000,000	3,000,000
収 入 合 計	6,715,663	6,294,256	-421,407

30周年記念行事費 (単位 円)

科 目	
準 備 金	3,000,000

特別会計 (単位 円)

科 目	
普通預金（無利息）	27,000,000

支出の部 (単位 円)

科 目	平成20年度	平成21年度	増 減
通 信 費	900,000	900,000	0
事 務 費	50,000	50,000	0
会 議 費	400,000	400,000	0
印 刷 費	700,000	700,000	0
旅 費	700,000	400,000	-300,000
学 内 行 事 費	20,000	20,000	0
慶 弔 費	100,000	100,000	0
支部設立援助金	300,000	300,000	0
支部援助費	1,000,000	1,000,000	0
会 長 交 際 費	150,000	150,000	0
ホームページ維持費	50,000	20,000	-30,000
名 簿 管 理 費	130,000	130,000	0
30周年準備金	1,500,000	1,500,000	0
雑 費	60,000	60,000	0
予 備 費	655,663	564,256	-91,407
支 出 合 計	6,715,663	6,294,256	-421,407

中央講義棟のご案内

薬学部6年制に伴う教育環境の充実に新講義棟が活用されています。

6年制の学生が入学して、早いもので丸4年が経過しました。この6年制移行に伴い、教育環境を整備・充実させるため建築された新講義棟「中央講義棟」が2007年から活用されています。

中央講義棟は、鉄骨鉄筋コンクリート構造、総面積4,612.78㎡の3階建てです。全館の冷暖房設備に氷蓄熱電気式ヒートポンプが採用され、また、各窓には自然光を採り入れるためのライトシェルフが設置されるなど、省エネを意識した設備が特徴です。

1階には、薬学臨床実習室が整備され、模擬薬局をはじめ、無菌製剤室、注射管理室、最新の自動錠剤分包機や薬袋発行機を導入した調剤室など充実した環境が整えられています。2009年12月に実施された第一回目のOSCE（オスキー：客観的臨床能力試験）もこの実習室を利用して行われました。

2階と3階は、最新機器を完備した大講義室とセミナーなどを行うことができる小講義室が合計11室用意され、講義や自習、期末試験に利用されています。また明るい学生ホールには、電子掲示板が設置され、各講義室の利用状況などが一目で把握できるようになっています。



副会長就任のご挨拶

12期 桂 正 俊



この度、田中会長の指名を受け、北海道医療大学薬学部同窓会（北医療薬）の副会長に就任致しました。

薬学教育が6年制となり、ますます同窓会活動が重要な事は間違えない為、責任の重さを痛感しております。また、今年同窓会創立30周年と節目の年でもあり、新しい北医療薬の活動が求められております。

私が卒業した12期は、音別での教養部が最後の年ですが、12期を境に同窓会の活動が変わってきています。音別を経験した諸先輩は、毎年のように同期会を開催しており、非常に出席率も高く、北医療薬の事業に協力的ですが、期が増えるにつれ、なかなか同期会の開催もなく、北医療薬の活動もわからないというのが現状です。ですので、比較的若い卒業生が、同窓会活

動に参加して頂けるような事業を検討していきたいと思っております。

その中でも、各支部の活動はとても活発で、特に一番遠い沖縄支部については、ホームページでも紹介していますが、年々活動が活発で是非見習うべきと考え、同窓生が何をしたいのか、何を求めているのかを、多くの同窓生に耳を傾け、多くの同窓生が参加したくなるような事業を考える事が私に与えられた使命と考えております。

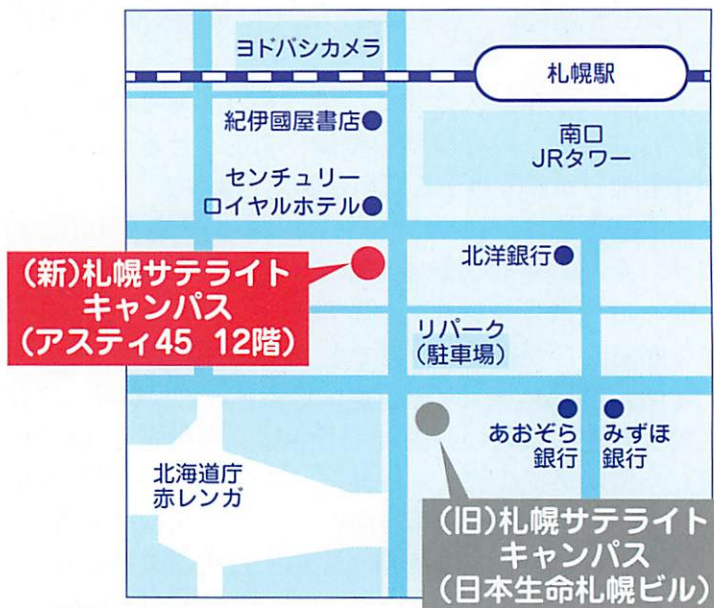
これから、道内の病院や薬局に実務実習として、私達の後輩がやってきますので、北海道医療大学を卒業して良かったと思えるような“北医療薬”に行く為、しっかり田中会長を補佐して行きたいと考えておりますの、ご指導並びにご支援宜しくお願い致します。

札幌サテライトキャンパスが移転します

現在、日本生命札幌ビル5Fにある、札幌サテライトキャンパスが、4月より、アスティ45ビルに移転することとなりました。

【新住所】

〒060-0003 札幌市中央区北4条西5丁目
アスティ45 12F
4月12日（月）オープン予定



平成22年度 北医療薬総会開催のお知らせ

開催日：平成22年6月5日(土)

評議員会：16時30分～17時30分

総会および札幌支部総会：17時30分～18時30分

医療薬学セミナー：18時30分～20時

講師：北海道医療大学薬学部教授 関崎春雄先生

演題：『薬草の自産・自消で健康生活を！』

懇親会：20時～

場所：ホテルKKR札幌

〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目

TEL.011-231-6711

編集後記

早いもので、薬学部が6年制になって今年で5年目を迎えようとしています。その間、カリキュラムの改変、CBT、OSCEといった共用試験などの実施など、初めてのことが多く、学生も教職員も少なからず不安な日々を送ってきました。くしくも、薬学部の同窓会設立30周年記念式典が昨年開催されましたが、本学開学当時の教職員や諸先輩方も、さぞ不安な気持ちを持たれたことでしょうか。しかし、不安以上に大きな夢と希望も持たれていたことが、今の30周年という歴史につながっているのではないのでしょうか。不安な社会情勢が続きますが、薬学、薬剤師の今後にも大いなる夢と希望を持ちたいものです。